



## ～子どもの事故を防ぐために～

9月に奥多摩消防署救急救命士の方を講師に、ファミサポ・病後児会員研修「子どもの応急対応～こんな時はどうする？～」を行いました。これはきこりんが、毎年開催している研修のひとつです。当日は会員さんや子育て中のママさん、日頃子どもに関わる仕事に携わるみなさんなどが参加しました。

講義は『STOP！こどもの事故』をテキストに、講師の松村和夫さんからご自身の体験を交えて、子どもの転落、窒息・誤飲、やけど、溺れ、挟まれについてお話がありました。ボタン電池は体内に入ると非常に短い時間で消化管壁に潰瘍を作るので、電池の保管は厳重にする、のどのやけどは重症化しやすいため熱い飲み物や食べ物には注意すること、お風呂で溺れる時、子どもは静かに沈んでいくため気づきにくく、お湯は水より心臓が止まるのが早いなど、貴重なお話が盛り沢山。実技では、人形を用いて背部叩打法や心肺蘇生法、AEDの使い方を体験。ものが詰まった際背中を叩いて出す方法である背部叩打法の姿勢や力の加減、AEDは音声ガイダンスを聞きながら落ち着いて使用すればよいなど、適宜アドバイスを受つつ体験しました。

東京消防庁管内では、1日あたり平均36人のお子さん（12歳以下）が救急車で搬送されているそうです。子どもの身の周りの環境を整備して、対策を立てることで防げる事故もあります。また万が一事故が起きても、対処法を知っていれば、迅速な対応が取れ深刻な事態に至らずに済むこともあります。子どもの安全を守るために、大人が正しい知識を得る、出来ることから始めたいと思います。1月には奥多摩病院の先生による子どもの病気に関する研修を開催しますので、どうぞご参加ください。



講師の松村和夫さん



講義のようす



背部叩打法を体験する参加者



救急車の前で集合写真



小児の心肺蘇生法を習う参加者



小児のAEDのパッドの貼り方について説明を聞く参加者



## 「パパ★ヨガ」が開催されました!!

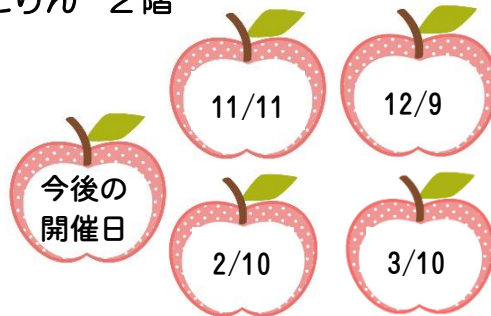


9月14日土曜日に、男性対象のヨガ教室を開催しました。当日の参加者は少なめですが、満足度は120パーセントのようでした。ご覧ください、終了後の素敵な笑顔!(^^♪♪  
 「毎月やって欲しい!」とは参加者の声。今回残念ながら参加できなかった方も、次回ぜひご参加ください。きこりんでは、地域のみなさんに向けての企画を今後も実施していきますのでどうぞご利用ください。



## 「絵本といっしょ」に来ませんか〜

平日の第2月曜日 午前11時〜  
 きこりん 2階



絵本読み以外にも、簡単工作づくりや手遊びなどで、参加者と相談員で楽しむ40分です。お気軽に遊びに来てください。



**10月26日(土)、町の「ふれあいまつり」に、きこりんも参加します。**

**小さなおこさんも楽しめるピンポン玉を紙コップに入れて**

**遊ぶコーナー(無料)もあります。お気軽にのどきに来てください。**



発行：こども家庭センター・きこりん 奥多摩町小丹波 108 番地

TEL：0428-85-2611 相談専用：0428-85-1788

相談専用メールアドレス [kikorin@town.okutama.tokyo.jp](mailto:kikorin@town.okutama.tokyo.jp)

